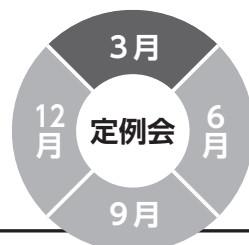


よしかわ

News from Yoshikawa City Council

市議会だより



No.209

発行 吉川市議会
編集 広報委員会
発行日 令和8年5月1日



そばたか
蕎高神社（高富）

目次CONTENTS

3月定例会概要	2
代表質問	4
委員会審査概要	6
討論	8
答えて市長！一般質問	10
提出議案とその結果	14

市議会へ
アクセス
してみよう！



マチイロ

検 索



議会だよりは
スマートフォンアプリ マチイロでも読めます

3月定例会 概要

第2回3月定例会は、2月20日から3月18日までの27日間の開催となりました。

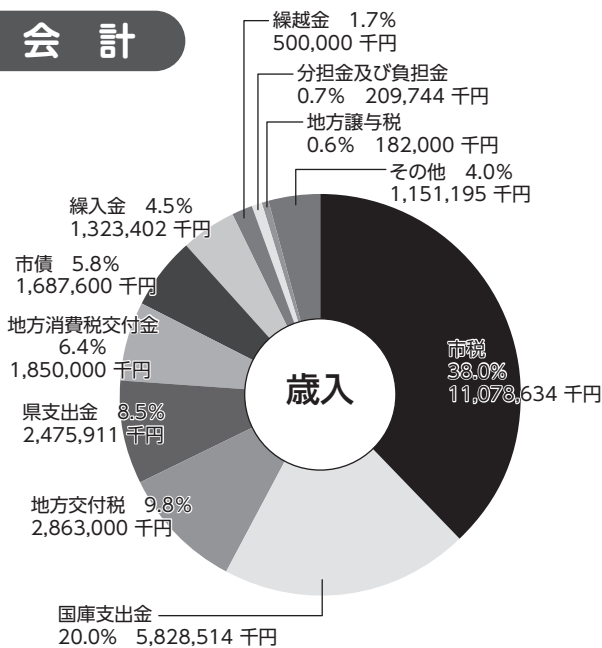
今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派が代表質問を行いました。（代表質問の要旨は4ページから5ページ）

また、一般会計予算をはじめ、各特別・企業会計の当初予算のほか、吉川市空家等の適正管理等に関する条例の一部を改正する条例などの市長提出議案26件、議員提出議案として3件の意見書などを審議し、議決しました。

委員会での審査概要は6ページから7ページ、「一般質問」は10ページから12ページでお伝えします。



会計



一般会計予算 こんなことに使われます

◆公園維持管理事業

2億9899万8000円

市民の皆さまにとつて、公園が親しみと憩いの場所となるよう、老朽化した遊具など

令和8年度一般会計予算

291億5000万円でスタートします

の修繕等を行うとともに、遊具の撤去を行った高久公園には複合遊具の設置、永田公園には木材を使用した遊具の設置をするため計上しています。

◆公共交通対策事業

4263万5000円

バス路線廃止に伴う代替交通として、吉川駅の南部地域では、三郷市との連携の下、4月から新たな路線バスが運行する補助金などを計上しています。



◆母子保健事業

1億4846万8000円

乳幼児や妊産婦を対象とした保健指導、訪問、健康診査や未熟児養育医療給付、産後ケアが必要となる方への訪問支援などを実施します。また、不妊治療における先進医療に要する費用の一部助成を行うため計上しています。

◆スポーツ施設整備事業

6億6070万4000円

東埼玉資源環境組合第二最終処分場における多目的グラウンドやテニスコートの整備工事等を行うため計上しています。

◆老人福祉センター運営事業

3807万6000円

高齢者の健康保持・増進や交流などを目的とし、老人センターを円滑に運営するための事業です。また、老人福祉センターの照明器具のLED化に係る工事費などを計上しています。



主な議案のあらまし

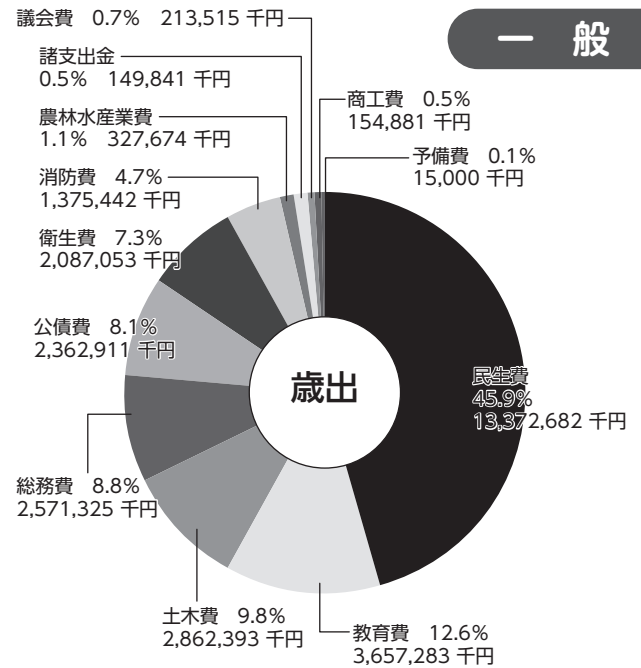
◆吉川市子ども・子育て支援法等施行条例の一部を改正する条例

市立保育所における乳児等通園支援事業の実施に伴い、当該事業の利用料の設定及び罰則規定の整備をするともに、一時預かり保育料の見直し等を行うとするものです。

◆吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険制度の健全で安定的な財源運営を図るため、国民健康保険税の税率等を改定するとともに、子育て施策の拡充に充てるために国が健康保険者等から徴収する子ども・子育て支援納付金の創設に伴い、新たに市が国民健康保険の被保険者へ賦課する子ども・子育て支援納付金課税額を定めようとするものです。

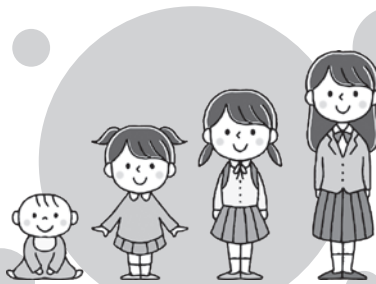
一般



◆児童健全育成事業

3163万9000円

「子ども家庭センター」の運営を通じた妊娠・出産・子育ての切れ目のない伴走型支援や、義務教育後の若者が直接社会との関わりを持ち、就労につながる資格取得助成など、当事者一人ひとりの状況に寄り添った支援をしています。



●特別会計・企業会計

	会計名	予算額 (千円)	前年度比 (%)
特別会計	国民健康保険特別会計	6,535,735	2.6
	介護保険特別会計	5,273,258	7.9
	後期高齢者医療特別会計	1,302,610	15.3
	吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計	4,824,563	△ 15.7



特別会計・企業会計
新年度予算決まる
4つの特別会計と3つの企業会計の令和8年度予算は左表のとおりです。

	会計名	収益的収入及び支出	予算額 (千円)	資本的収入及び支出	予算額 (千円)
企業会計	水道事業会計	収益的収入	1,901,683	資本的収入	1,166,812
		収益的支出	1,801,046	資本的支出	1,521,580
	下水道事業会計	収益的収入	1,697,696	資本的収入	923,366
		収益的支出	1,618,439	資本的支出	1,286,572
	農業集落排水事業会計	収益的収入	48,472	資本的収入	15,128
		収益的支出	48,293	資本的支出	19,391

※企業会計において資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保分資金などで補てんします。

代表質問

市長の施政方針

【四つの重点テーマ】

- ▼命を守る
- ▼子どもの笑顔を未来につなぐ
- ▼誰もが輝くまちをみんなで創る
- ▼価値を高め、次世代に継承する

2月25日、中原市長の施政方針に対し、各会派の代表者6名が代表質問を行いました。

主な質問と答弁の内容は次のとおりです。



公明党
吉川市議員
五十嵐恵千子

問 市民の暮らし最優先に幸福実感の向上が一層求められる年度になるが、国の当初予算が成立しない場合の対処と共動によるまちづくりは。

答 国において暫定予算が組まれるので行政機能が直ちに停止することはない。市民・行政の協働の理念の

もと、しっかりと市政運営をしていく。
問 吉川美南駅東口・三輪野江地域の新たな魅力創出と発展への展望は。

答 其々の計画理念が違っているの



日本共産党
吉川市議員団
遠藤 義法

問 市民生活は物価高騰で厳しさを増している。吉川市独自に継続的な支援を行う考えはないか。

答 均衡や公平性などの観点から国が責任を持って対応すべき。それ

問 児童生徒の体力・視力の低下、不登校の増加、自死の多さなどの状況から根本的な対策が求められるが。

答 一番大事なのは子ども、保護者とともに先に進む力が得られること。吉川市子ども計画に沿って政策と教育を進め、子どもたちの幸福実感、自己肯定感をあげていきたい。

問 吉川美南駅東口に建設計画のデータセンターの環境対策は充分か。

答 事業所は環境配慮を認識されており、言つべきことは主張していく。



自由民主党
吉川市議員団
松崎 誠

問 東部地域の交通施策で、タフシー助成を継続しつつ実施する調査は、どのような対象・方法で行うのか。高齢者、子育て世帯、通勤通学者等属性別ニーズの把握は行うのか。また、福祉事業者提案の空き車両活用による移動サービスの具体的スキー

ム、法制度上の課題や採算性の検証状況は。試行にとどまらない持続可能な交通体系の長期ビジョンを問う。
答 一部バス路線の廃止を撤回し継続する方針で、今後協議を進める。調査はニーズ把握を目的に実施し、詳細手法は検討中。空き車両活用は福祉事業者からの提案を踏まえ、制度面や採算性などの課題整理を進める。地域特性に応じた実証的取組も含め、市・事業者・地域が連携し、持続可能な交通体系の構築を目指す。



未来会議
よしかわ
戸田 馨

問 第6次吉川市総合振興計画後期基本計画の策定にあたり、人口減少時代を踏まえ、人口推計など基礎データの検証方法、幸福実感や持続可能性といった質的視点を含む指標の整理、さらに総合振興計画と総合戦略の関係性をどのように位置づけ

ていくのかを問う。
答 基礎調査により人口動態や社会状況の客観データを整理し、市の現状を共有しながら計画策定を進める。指標は従来の量的評価に加え、幸福実感や持続可能性など質的評価も取り入れる方向で検討するが、評価手法には課題もあるため慎重に整理する。総合振興計画と総合戦略については、改定時期を見据え、国の動向も踏まえながら計画の整理・一体化を図っていく。



平和市民クラブ
降旗 聡

問 中央公民館につながる下水道管の耐震化にむけた設計作業に取り組むが、この場所にした選定理由と下水道管の耐震化計画について。
答 能登半島地震を機に、国から避難所等につながる上・下水道の一体的な整備が求められた。

市では令和7年1月に上・下水道の耐震化の計画を策定したところ。上・下水の一体的な整備を求められている中、水道管が耐震化されており、また、下水の本管に近く市内でも下水道として一番大きな口径がある中央公民館につながる下水道管から耐震化を進めることに決めた。
今後は、これらの考えと共に、他の道路や水道の工事と二重投資とならないようしっかりと考えながら整備を進めていく。



SELECT吉川・
自民・参政・維新・
無所属
稲葉 剛治

問 市制施行30周年という節目、吉川市の未来に対する市長の決意を伺います。
答 市民の力と自治を信じ、行政を小さくし地域へ分権していく。そのために人材を育て、若い世代が志を持つことが必要です。私は先人か

ら預かったペンで大きな画用紙にフリーハンドで絵を描いている存在です。市民や職員と共同でペンを握り、何度も重ね描きしながら形を整えていく。その絵こそが吉川市の未来です。やがてそのペンを次の誰かに託す。その間、派手で目立つ政策を一人で描くのではなく、静かに脈々と続く丁寧な市政を、市民や職員とともに円を描くように積み重ねていきたいと考えています。

市長提出議案

委員会審査概要

総務健康常任委員会



戸田 馨 委員長

◆吉川市敬老祝品等贈呈条例を廃止する条例

閤高齢者の予防接種や補聴器などの支援を充実させるべきでは。

答事業の目的は長寿のお祝い
の気持ちであり金銭の補助
ではない。本条例は一定の
役割を終え廃止は適切と考
える。

賛成多数で可決

◆吉川市職員の給与に関する条例及び吉川市一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

閤公共交通の維持、自転車利用への動機づけ、環境配慮への考えは。

答本改正は人材獲得を目的としており、環境配慮については別の視点で取り組んでいる。

公務員の魅力を向上させることで、安定した行政運営を行うための人材確保に努めたい。

賛成全員で可決

◆令和7年度補正予算

閤国の補正予算を活用して実施する事業は。

答美南小学校空調設備更新、関小学校門扉改修、古利根堰耐震化事業など、国の補正予算を活用して実施する

事業は全体で3事業である。

賛成全員で可決

◆令和8年度一般会計予算

閤30周年事業の採択、金額の決定における議論の内容は。

答実施方針を踏まえて多くの方から事業提案をいただいた中から、推進チームと実行委員会での議論を経て採択された。20周年記念事業の内容を参考に予算金額を整理した。

賛成多数で可決

◆令和8年度吉川市国民健康保険特別会計予算

閤一人当たりの医療費は。

答令和8年度は確定していない。決算ベースで令和5年度は39万7090円、6年度は41万8506円である。

賛成多数で可決

こども教育常任委員会



林 美希 委員長

◆こども発達センター条例の一部を改正する条例

閤利用時間短縮、利用者に影響はないか。

答利用相談は午前中の対応が中心、放課後クラスは16時10分まで。16時30分以降の相談はほばない。

賛成全員で可決

◆令和7年度一般会計補正予算

閤障害福祉費、自立支援給付事業2200万円増。増額の理由と、状況を伺う。

答放課後デイサービス、グループホーム、就労継続支援B型いずれも利用者が見込み以上に増えた。

閤児童福祉施設費、人件費の減額補正。保育士の数は満たしているのか。

答会計年度任用職員の保育士採用が見込みに届かなかったが、保育補助士等含め配置基準は満たしている。

賛成全員で可決

◆令和8年度一般会計予算

閤社会福祉協議会支援事業、人件費の具体的な説明を。

答新たに配置する常務理事と事務局長2名を含めた補助。





賛成多数で可決

閘地域福祉推進事業、扱う範囲が非常に広く評価が難しい地域福祉計画改定。課題は。

閘地域のつながりを強化、支援を求める声をあげづらい方をアウトリーチ事業等で発掘していきたい。自殺対策計画と統合し策定する。

閘学区審議会の詳細は。

閘旭小学校区に関し、こども達からは「大人数での遊びができない」教職員からは「集団の固定化」などの意見が多くあった。令和8年度中に3回審議会開催予定、令和10年度を目途に進める。

建設生活常任委員会



降旗 聡 委員長

◆空家等の適正管理等に関する条例の一部改正

閘行政代執行法の定めにより代執行ができることになっているが、改正後は代執行の規定が削除されている。代執行が必要な場合の対応は。

閘空家特措法の改正に伴い、法律と条例のすみ分けを行うものである。

行政代執行については空家特措法に規定されており、行政代執行を行う場合については、法律の規定に基づ

き対応する。

賛成全員で可決

◆財産（移動式排水ポンプ）の取得について

閘入札に参加した8者のうち5者が辞退しており、予定価格の超過が2者となったが、物価高騰の中で予定価格が厳し過ぎるのではないかと感じている。設計の仕方の考えについて伺う。

閘設計の考え方については、見積書を数社から徴取して、それを基に設計をしている。

賛成全員で可決

◆令和8年度一般会計予算

閘土木費・道路新設改良費のうち、吉川駅北口駅前広場のR8年度分の工事内容について。

閘駅改札から駐輪場までの約40mの整備を予定している。主にロータリーの西側の区間となる。

賛成多数で可決

吉川市議会 新体制に

2月5日に開催された、令和8年第1回臨時会で、正副議長、各常任委員会・議会運営委員会の指名などを行い決定しました。



【議長】
おの きよし
小野 潔

2月5日の臨時議会において議長に就任いたしました小野 潔です。当市は令和8年度市制施行30周年を迎えます。新たな吉川市構築・発展のため全力を尽くしてまいります。何卒よろしくお願いいたします。



【副議長】
あか で がわ よし お
赤出川 義夫

この度、副議長に就任いたしました。責任の重さを痛感しつつ、皆さまと共に円滑な議会運営と市政発展に尽力いたします。市民の皆さまには、今後も引き続き、市議会に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

委員会等については、**市公式サイト**でご確認ください



討 論

◆吉川市敬老祝品等贈呈条例を廃止する条例

1名の議員が討論を行いました。

― 反 対 討 論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

条例廃止の趣旨は「相談支援体制の充実がより実効性のある施策」「高齢者が自主的に社会活動や介護予防等に取り組む、生きがいを持って暮らしていけるようなきっかけづくり」とのことです。

しかし具体的に実施する施策は、地域包括支援センターの相談員の増員のみです。令和3年12月議会で採択された高齢難聴者の補聴器購入費用助成等、高齢者が生きがいをもって暮らしていくための代替策が検討されていません。

◆吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

1名の議員が討論を行いました。

― 反 対 討 論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

国保加入者は漸減傾向なのに、滞納件数のこの3年間で1・5倍増加。一方、滞納分を分割してでも支払う人は3年間で半分以上に減少。負担が重過ぎて、払えない状況が深刻化していると見るべき。

子ども・子育て支援金の負担が課せられる。子育て支援策の充実は嬉しい。しかし今後必要とされる金額は26年度6千億円、27年度8千億円、28年度1兆円とのこと。国が子育て支援を強化すればするだけ青天井に負担増となる。消費税で負担するべき。



◆吉川市職員の給与に関する条例及び吉川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

2名の議員が討論を行いました。

― 反 対 討 論 ―

平和市民クラブ

岩田 京子 議員

本改正は人事院勧告や人材確保の観点から一定の必要性は理解しており、通勤手当の引き上げや上限5千円の駐車場補助そのものを否定するものではない。

問題は制度設計のあり方だ。「通勤手当」は単なる職員の負担軽減にとどまらず、公共交通の維持、環境負荷の低減、健康増進など複数の課題に同時に寄与できる分野だった。

しかし、そうした多角的視点がなく「本議案は職員の人材確保と負担軽減のための改定で、環境配慮は別の視

点」と縦割り姿勢を明確にした。

制度が人の行動を促す。一部の職員の善意による努力でもなく、全ての職員への強制でもなく、課題解決を促す仕組みを制度に落とし込むことが重要なのだ。この事はいかつての幹部職員も言っていた。

制度がまちをつくる。今回、自動車通勤者への負担軽減と同時に、地域の課題解決を両立するチャンスを生かしたと考えている。多角的視点の欠如を問題提起し、本議案に反対。

― 賛 成 討 論 ―

戸田 馨 議員

本議案は、人事院勧告に準じ、職務・職責をより重視した給与体系への見直しと、通勤実態に即した手当の整理を行うものであり、人材確保が厳しさを増す中、働きやすさと働きがいを高めるための重要な制度改正である。通勤手当や駐車場補助について

自動車通勤を誘導するとの指摘があったが、本改正は燃料費高騰等の実態を踏まえた負担調整であり、行動誘導を目的としたものではない。そして、本条例は人事給与制度の整備を目的とするものであり、環境政策とは異なる政策領域として整理されるべきである。多様な勤務実態や居住環境の違い、人材獲得競争の激化を踏まえ、職員が安心して職務に専念できる環境を整えることは行政サービスを支える基盤となる。現実に機能する制度を着実に整備することこそ自治体の責務であり、本議案に賛成する。



◆令和8年度吉川市一般会 計予算

4名の議員が討論を行いました。

ー 反 対 討 論 ー

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法 議員

物価高で市民生活は厳しさ

を増しています。市は「単独での灯油代、電気代の補助やエアコン購入補助、物価高騰手当の支給を実施する考えはない」との回答です。市制施行30周年イベントが40事業計画されています。市が最初に実施すべきことは、市民のくらしを支える事業です。

市民の外出支援、公共交通拡充の要望が多くあります。市は、路線バスは事業者と連携、きめ細やかな移動ニーズは、NPO団体や地域の移動支援団体などの力を借りてすすめる方向です。市民が期待する移動支援事業の主体は吉川市が責任を持ち行うべきです。タクシー利用助成は市街

地の方も対象とすべきです。

舞台公演製作支援業務委託料として500万円が計上され、今年度より200万円の増額です。施政方針で市民のくらしも市の財政も厳しい状況が続いていると言いながら、演劇事業に200万円も増額することに市民の理解が得られるとは思えません。

ー 賛 成 討 論 ー

SELECT吉川・自民・

参政・維新・無所属

菊名 克典 議員

本市は令和8年度、市制施行30周年という大きな節目を迎えます。これまでの歴史と先人への感謝を胸に、次世代が愛着を深め、関わりのきっかけ作りの各施策を高く評価します。まず、第一に避難所への空調設置や排水ポンプの更新、共保雨水ポンプ場の増強に向けた詳細設計といった「命を守る」取り組みは、市民の安全・安心に直結する重要な施策です。第二に、不妊治療助成や若者への伴走型

支援、教育現場のニーズに応じたGIGAスクール端末の柔軟な運用など、当事者目線の支援を評価します。第三に、学習支援の一貫体制の構築や文化芸術を通じた平和事業の工夫により、誰もが輝くまちづくりが進むことを期待します。最後に、吉川美南駅東口の文化施設整備や農業拠点開発など、地域の価値を高め、次世代へ継承する動きを注視しています。

未来会議よしかわ

戸田 馨 議員

本予算案は、市長が掲げる「市民一人ひとりが幸福を感じる未来の創造」という理念のもと編成され、自治体経営の方向性と未来への責任を示すものとして高く評価する。人口減少社会への転換期において、本予算は、どのような価値を未来へ継承するかという本質的課題に向き合う内容となっている。防災・減災やインフラ整備による命を守る施

策、子供や若者への包括的支援、市民参画や重層的支援による共生社会の推進、さらに文化芸術・農業・産業振興等を通じた地域の価値の継承など、理念を具体化する施策が体系的に示されており、現場を見つめ、必要なものは伸ばし、役割を終えたものは再設計・再構築してゆくという姿勢や、市民と行政が現実を共有し共に未来を築く「社会を開く」という考えが明確であり、本予算案は吉川市の価値ある未来に向けた確かな一歩であると評価し、賛成する。

公明党吉川市議員団

大泉 日出男 議員

命を守るについて、減災元年から10年目を迎えた中、減災プロジェクトの開催により、市民との共働をテーマに減災・自助・共助の重要性を育み、その取り組みが広がりつつある点は評価。実際おこりうる災害は、まさに現場からの発露、知恵、判断力が、肝となることから、自ら備える

自助、その上での減災意識は重要であると考えます。

子どもの笑顔を未来につなぐについて、「不妊治療」における先進医療費用の一部を助成するとの事。埼玉県内でも限られた自治体での取り組みでもあり、市民に寄り添った助成制度であるため評価。

地域公共交通について、昨年開催したシンポジウムをうけて「地域の皆様のお力を頂きながら、全ての関係者の皆様で、地域公共交通の未来を作り上げていきたい」との事。

地域発の、まずは、できるところからやってみようという機運の醸成が必要だと考え評価。いずれも市民の幸福実感の向上につながると考え賛成。



一般質問

答えて市長！
一般質問

今定例会では、3月16日(月)、17日(火)、18日(水)の3日間にわたり11名の議員が市政全般について、市の見解をいただきました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



ゆき た
雪田 きよみ 議員

住宅火災被害者への
支援の充実を

問 火災被害者に対する市の支援内容は。

答 火災発生時、担当課職員は昼夜を問わず直ちに現場に駆け付ける。被災者や避難者個々に被災状況等を伺い、受けられる制度や手続きを記した書面をお渡ししている。宿泊施設利用を希望する方々には、協定している近隣の宿泊施設の予約等を行い、日用品等の提供や衣類・食料等の支援は社会福祉協議会が担っている旨案内している。

問 被災した方は何の過失もないのに一瞬のうちに全てを失い、非常に混乱し疲弊し、不安の中にいる。生きていくためにお箸一本、下着一枚、靴下一枚買うところから生活を立て直していかなければならない。見舞金制度が必要ではないか。

答 被災者が生活の再建に歩み出していけるように、更なる後押しに繋がるような支援の検討作業を既に始めている。これまで行ってきた宿泊・食料品・衣類等の支援以外に、有効な支援制度をつくっていけないかと今検討作業を行っている。被災直後が一番苦しく、その一番苦しい時を支えていくような支援制度を考えていきたい。

かとう かつあき
加藤 克明 議員

被災をされた方々に
災害見舞金制度の創設を

問 火災直後に生活手段を失った被災者へ、即日支給可能な見舞金や緊急生活資金の創設・拡充を求む。

答 現時点で独自の見舞金制度の創設は考えていないが被災者の不安軽減と生活再建を後押しする新たな支援制度については検討作業を進めている。

問 既存制度の即日対応化を図るべきではないか。

答 社会福祉協議会が窓口の緊急小口資金は上限3万円で即日対応が可能である。

問 住宅確保のため県営住宅・民間賃貸住宅の優先入居枠確保や移動支援の充実を求む。

答 県営住宅の一時使用制度は案内しているが、民間住宅の優先枠確保は考えていない。市はビジネスホテル1週間の宿泊と送迎については対応している。

問 衣類・日用品等の現物支給や医療費減免の強化を求む。

答 日本赤十字社や社会福祉協議会と連携し物資提供を行い、医療費減免制度についても案内・周知している。

おおいずみ ひでお
大泉 日出男 議員

なまず養殖の次なる一手を



問 現在当市では、なまず養殖がされているが何年前から始まり、年間出荷量はどのくらいで主な出荷先はどんな所があるのか伺う。

答 稲作を行っている農事組合法人が、平成8年度より養殖施設の整備を始め開始。年間出荷量は2トンで、主な出荷先は市内の料亭などの飲食店。

問 視察先である岡山理科大学での「好適環境水」を利用した陸上養殖の効果は、今までの手法や伝統を大切にしながら、同時に新たな手法で地域全体を活性化することができる。今までの産業の伴走支援を加速し、設備に使われる水等を運用する企業、雇用の創出、産業立地の促進、商業の回復等様々な可能性が秘められている。吉川市農業パーク基本構想の実現にも大きく貢献ができると考えるがご所見を伺う。

答 好適環境水を使用したなまずの陸上養殖は、新たな魅力ある提案であり、今後、事業参加を目指す事業者が現れた場合は、事業の実現可能性や継続性を踏まえ、情報交換等を行ってまいりたいと考えている。

いいじま まさよし
飯島 正義 議員



正規職員の確保と非正規 職員の勤労の差をなくす

問 会計年度任用職員の給与は職務内容等に応じて決まり、低く抑えられています。福利厚生も正規職員と比較して充実度が劣る場合があります。現状を伺います。

答 フルタイムで働く会計年度任用職員の給与は正職員平均の66%です。昇給上限や休暇制度などについても国の通知に基づいた運用や非常勤職員に合わせ、処遇の向上を図ってきたところです。

アピアランスケア用品の 購入補助を早急に

問 アピアランスケア用品は、がん治療等に伴う外見の変化による心理的負担を軽減し、治療と社会参加の両立を支援するものです。療養の質の維持に繋がり、助成を求める声が寄せられています。市の考えを伺います。

答 ケア用品は質や価格の幅が広く、日常生活等の状況を踏まえて各自が選択する範疇と認識しています。国による制度化が望ましいこと、外見の変化はがんだけでなく他の病気等もあり、市として現時点で助成を実施する考えはありません。

よしかわ としゆき
吉川 敏幸 議員



学校統廃合に関して 声なき声に耳を傾ける

問 学校の統廃合に関して、議会の議決は必要なのか。

答 学校設置条例に旭小学校の記載があるので、削除を求める議決が必要になると考えている。

問 ならば、議会にデータで示して欲しい。今議会では、埼玉県立高等学校を男女共学化にするにあたって、生徒の意見を尊重した方針決定を求める意見書が提出される。埼玉県教育委員会は中学生及び高校生とその保護者に対するアンケートを実施しているが、今後さらに慎重な議論を求めている。吉川市教育委員会は、統廃合に当たり、児童、生徒やその保護者、そして、地域の住民に対して、アンケートを行う考えはあるのか。

答 改めてアンケートを行う考えはない。

問 地域から学校を失くすと更なる人口流出や地域コミュニティの喪失という社会的コストが掛かることが懸念される。市はどう捉えているか。

答 学校が地域コミュニティの核であると認識している。学校跡地の有効活用や地域が衰退しないような策を考えていければと考えている。

いわた きょうこ
岩田 京子 議員



大規模データセンターの 環境影響と市の対応

問 吉川美南駅東口の産業ゾーンに誘致された大規模データセンターは、IT電力容量80MWの2棟からなる計画で全国でも最大級の規模となる。一般的な電力を使用した場合、1事業者だけで、年間約37.9万tCO₂を排出すると推計され、吉川市全体の排出量(27万tCO₂)を大きく上回る。ゼロカーボン政策への大きな影響は明白だが、市はどのように対応するのか。

答 環境省の自治体排出量カルテで状況を把握し、事業者者に情報公開を求める。また、再エネ由来の電源調達や最新鋭の省エネ機器導入など環境対策を要請している。

問 市としての公開も必要。環境政策はこれから入所するテナントの方針によって左右されると聞いている。土地取得会社、投資会社、建設運営していく会社、入居するテナント会社など様々な事業者が関わるが、市は誰と協議をしているのか。

答 現在は建設・運営事業者と協議している。今後、入居するテナントとも協議できるか確認していく。

えんどう よしのり
遠藤 義法 議員



安全に自転車通行可能な 道路と標識を

問 市内の歩道で自転車通行可能な路線数と今後拡充する計画は。自転車通行可の標識がわかりにくいので、路面に標示する考えは。

答 普通自転車が通行可能な歩道は、市・県道で15路線。歩道内を普通自転車が通行可能と指定できるのは幅員が3m以上で、歩行者の通行や沿道の状況などから公安委員会が規制します。新規に歩道を自転車通行可と指定する予定はないと警察から聞いています。路面標示は、交差点に入る箇所にわかりやすくできないか検討します。

除染土の処理を早急に

問 福島原発事故から15年。吉川市は原発事故後除染作業を行い、学校、公園などに除染土を一時保管しています。国の責任で一日も早く除染土処理を実施すべきです。

答 除去土壌は市内25か所に保管しています。環境省より処理のガイドラインが示され、国と協議を重ねております。国がやるべきことは要望しつつも、市がすべきことは責任をもって行います。

みやくぼ まさかず
宮窪 雅一 議員

吉川市の次世代農業について

問 外国資本又は実質的に外国資本が関与する事業者・個人による農地取得や参入の動きについて、本市は実態をどの程度把握しているのか。今後、調査・情報収集を行う必要があると考えるが、市として現状認識と今後の対応方針について見解は。

答 事業者及び個人が農地を取得する場合は、農地法第3条の許可が必要となり、営農に関する能力を有するか否かを農業委員会で審査した上で許可をする。事業者の国籍把握はしているが、国籍自体は審査対象ではない。

問 農業拠点整備に参入する事業者の資本構成、最終的な意思決定主体、土地利用の長期的帰属について、市の確認、判断基準と方針は。

答 選定委員会により、プロポーザル方式で選定。参入事業者が経営に必要な資力と信用を有し、長期間の営農が可能かを基本条件として判断。国の農地中間管理事業を活用し、埼玉県農林公社が農地契約を仲介している。次世代の視点を取り入れた持続可能な都市近郊農業実現のため、参入事業者について慎重に選定を行う。

いがらし えちこ
五十嵐 恵千子 議員

一人暮らし高齢者を地域で見守るやさしいまちに

問 国内では、平均寿命の延伸や家族構成の変化等により、一人暮らし高齢者が増加している。

①本市の現状と課題、取り組みについて伺う。

②高齢者福祉計画・介護保険事業計画の第10期事業計画に位置付け、地域で見守る体制構築を。

答 ①令和7年4月の65歳以上の高齢者数は17,762人、高齢化率は24.5%。2040年の高齢化率は30%に達し、介護サービス需要の増加が見込まれる。認知症に加え、単身高齢者や高齢者のみ世帯も増加傾向にあり、多様化・複雑化する課題への対応が求められるため、各地域包括支援センター職員の増員等、相談支援体制の拡充を図る。

②一人暮らし高齢者の見守りは、行政だけでなく地域の様々な方が関わり多角的に取り組むことが重要との視点も踏まえ、議論を重ねていく。

5歳児健康診査の実施を

問 子供の状態に応じた支援や就学後に本人が学校に適應していくためには重要。本市も実施を。

答 現時点において実施は予定していない。

はやし みき
林 美希 議員

生成AIの活用

問 生成AIは業務効率化や市民サービス向上、より創造的・戦略的な業務に力を発揮できる環境づくりを支える技術。デジタル技術を柔軟に活用できる職場環境を整えることは、将来にわたり選ばれる組織であるための一つの要素となる。生成AI活用に関する見解を伺う。

答 業務効率化、質の向上、行政サービスの持続可能性にとって重要なツールの一つだが、誤った情報の生成や個人情報漏洩のリスクが指摘されており、国からは対策を講じた上で利用するよう注意喚起されている。職員向けのガイドラインを整備し、研修等を通じて職員が正しい知識を習得することが重要と考えている。

問 新しい技術の導入に対して不安がある市職員がいた時、組織や管理職職員が前向きなメッセージを伝える必要がある。どのように伝えるか。

答 生成AIの活用により、人にしかできない、市民にしっかり向き合い寄り添う時間を生み出し、市民の幸福実感の向上が実現できる。補助的なツールであることを規定し、周知を図る。

いわさき さゆり
岩崎 小百合 議員

おいしさと質を守る学校給食について

問 今年4月から、全国の公立小学校で給食無償化が実施される。子育て世帯の支援強化につながる一方で、献立の品目や量が減っていくことはないか等、質の低下を懸念する声が出ている。質を落とさないための取り組みについて伺う。

答 食材費の予算確保や給食費の改定。他、残菜調査や献立研究協議会に挙げた意見を、献立や食材選定に反映することで質の向上を目指す。

問 給食食材の地産産率は。

答 金額ベースで令和6年度は20.14%。地産地消の拡大に努めていく。

問 学校給食の有機農産物の使用量と品目は。

答 令和6年度は1,026Kg、令和7年度は3,175Kgの有機たまねぎが使用された。

問 農水省が「有機農業の日（オーガニックデイ）」に、有機農産物を活用した給食の提供を推進している。期間中に食材1種類のみを使用であっても取り組みの対象となっているが参加予定は。

答 有機農産物を適宜有効活用している為、現時点で参加予定はない。

議員提出議案

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には、3件の意見書が提出され、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

男女別学の埼玉県立高等学校において生徒の意見を尊重した方針決定を求める意見書

現在埼玉県には、12校の男女別学の県立高校がある。埼玉県男女共同参画苦情処理委員は、「埼玉県立高校において、共学化が早期に実現されるべきである」との趣旨の勧告を埼玉県教育委員会に対して行い、「是正その他の措置」についての報告を求めた。

埼玉県教育委員会は、勧告を受けて、中学生及び高校生とその保護者に対するアンケートを実施した。アンケート

の結果、「共学化した方がよい」と回答したのは中学生で18・7%、高校生で7・8%、「共学化しない方がよい」と回答したのは中学生で19・3%、高校生で57・2%、「どちらでもよい」と回答したのは中学生で56・2%、高校生で33・2%となった。アンケート結果からも、今後さらに慎重な議論が求められることは明らかである。

よって本市議会は、在校生及び進学を目指す生徒の気持ちを尊重し、男女別学の埼玉県立高等学校において当事者の意見に十分配慮した方針決定を行うことを求める。

— 反対討論 —

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

主張が曖昧で、何を求めているのか一読してわからない。別学は少なくとも20年以上前から問題視され、様々な人の意見を尊重してきた結果今なお12校の別学が残っている。ジェンダー平等に向かう時代。別学は戦前の男らしさ・女らしさを求める教育の名残。教育の専門家から、憲法に定める教育の機会均等に違反と指摘。伝統校の文化歴史を敬う気持ち、別学ならではの楽しさは十分理解している。

平和市民クラブ
岩田 京子 議員
県は平成14年に続く再勧告を受け、共学化を主体的に推進する方向性を示した。大規模アンケートや様々な意見聴取により慎重に進めている。別学・共学について立場を曖昧にしたまま、県に抽象的な要望だけを伝えるのではなく、議会として明確な論点と責任ある姿勢を示すべきだ。このような曖昧な意見書には賛成できない。

— 賛成討論 —

未来会議よしかわ

戸田 馨 議員

本意見書は方針決定にあたり当事者の意見を十分尊重し丁寧な議論を求めるという極めてシンプルな内容。反対討論にあつた男女別学か共学かの考えを求めたり、ジェンダー平等や多様性について論じられているものではない。全てにおいて意見を聞くことは政策決定の大前提。反対討論にあつた根拠を是としてしまうと全ての政策決定が進まない。

非核三原則の堅持を求める意見書

自由民主党は25年11月20日、「安保3文書」改定に向けた議論を開始し、その中で非核三原則を見直す可能性があると報じられています。

非核三原則は、世界で唯一の戦争被爆国としての国際公約でもあり、国会で全会一致決議された国是です。25年の防衛白書でも「非核三原則を国是と

して堅持する」と書かれ、歴代首相が「いかなる政府によっても守られなければならない」と国会で答弁してきました。被爆者の「核兵器をなくしてほしい」という運動が世界を動かし、21年1月22日に発効した「核兵器禁止条約」に署名が95か国・地域に及んでいます。核兵器の非人道性を訴え続けた日本原水爆被害者団体協議会は一昨年、ノーベル平和賞を受賞しました。核兵器のない世界を実現するために動いている中で、非核三原則を見直す動きは世界の流れに逆行するものです。

吉川市平和都市宣言の「わが国は、世界唯一の被爆国として、平和憲法の精神にそって非核三原則が遵守されることを強く希望しあらゆる国の核兵器が速やかに廃絶され、文字どおり世界の恒久平和が実現されることを強く願うものである。」という宣言文の通り、政府においては、非核三原則の堅持を強く求めます。

令和8年3月定例会提出議案とその結果

【○：賛成 ×：反対 ◎：議案提出者 退：退席 欠：欠席 議：議長（議決に加わりません）】

議案番号	会派名及び議員名 議案名	議決結果	S E L E C T吉川					共産			公明			平和		自民		未来		無		
			菊名 克典	赤出川 義夫	中嶋 通治	稲葉 剛治	野村 拓郎	宮窪 雅一	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	岩崎 小百合	岩田 京子	降旗 聡	吉川 敏幸	松崎 誠	戸田 馨	林 美希	加藤 克明
《市長提出議案》																						
第2号	吉川市空家等の適正管理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	吉川市敬老祝品等贈呈条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	吉川市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	吉川市建築基準法に基づく申請等に係る手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	吉川市子ども・子育て支援法等施行条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	吉川市こども発達センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	吉川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	吉川市職員の給与に関する条例及び吉川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第11号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	令和7年度吉川市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	令和7年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	令和7年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	令和7年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	会派名及び議員名 議案名	議決結果	S E L E C T吉川					共産		公明		平和		自民		未来		無				
			菊名 克典	赤出川 義夫	中嶋 通治	稲葉 剛治	野村 拓郎	宮窪 雅一	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	岩崎 小百合	岩田 京子	降旗 聡	吉川 敏幸	松崎 誠	戸田 馨	林 美希	加藤 克明
第20号	令和８年度吉川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第21号	令和８年度吉川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第22号	令和８年度吉川市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第23号	令和８年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第24号	令和８年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第25号	令和８年度吉川市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第26号	令和８年度吉川市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第27号	令和８年度吉川市農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
《議員提出議案》																						
議提案第１号	男女別学の埼玉県立高等学校において生徒の意見を尊重した方針決定を求める意見書	可決	○	○	○	◎	○	○	×	×	×	議	○	○	×	×	×	○	○	○	○	
議提案第２号	非核三原則の堅持を求める意見書	可決	×	×	×	×	×	×	◎	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	○	×	
議提案第３号	武器輸出全面禁止原則を堅持し、平和国家を維持するよう求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	議	×	×	○	○	○	×	×	×	×	

*会派名、「S E L E C T 吉川」は「S E L E C T 吉川・自民・参政・維新・無所属」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、「平和」は「平和市民クラブ」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来」は「未来会議よしかわ」の略です。「無」は会派に属さないものです。



令和8年2月臨時会提出議案とその結果

《市長提出議案》																						
報告 第1号	専決処分事項の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告 第2号	専決処分事項の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1号	令和7年度吉川市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お詫びと訂正 よしかわ議会だより2月号14ページ「議案番号 第107号 議案名」に誤りがありました。

【正】 令和7年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）

【誤】 令和7年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） お詫びして訂正いたします。

6月定例会の予定

市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
		6月2日 本会議 (開会日)	6月3日 休会日 (議案調査日)	6月4日 本会議 (議案審議)	6月5日 委員会 (総務健康・こども教育)	6月6日 休会日
6月7日 休会日	6月8日 委員会 (建設生活)	6月9日 委員会 (請願審査)	6月10日 休会日 (委員長報告作成日)	6月11日 本会議 (委員長報告・議決)	6月12日 本会議 (一般質問)	6月13日 休会日
6月14日 休会日	6月15日 本会議 (一般質問)	6月16日 本会議 (一般質問・閉会日)	・日程は予定であり、変更となる場合がありますので、ご了承ください ・本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。			



編集後記

畑をはじめ、もうすぐ一年になります。土に触れているからでしょうか、今年の春は本当に「足音」を立ててやってきました。花や草が咲きはじめ、「山笑う」という言葉も実感する日々です。

Aーが普及し、毎日利用している方も多いのではないのでしょうか。私も畑のことで悩むことがあると、Aーに相談することがあります。すぐに的確な答えが返ってくるだけでなく、励まされた時には、感謝を通り越して、戸惑いや照れくささを感じます。

どれだけAーが進んでも、人は自然の中、人の中でしか生きられないと思います。自然は厳しく、そして優しく、時に恵みも。暇をみてはいそいそと畑に向かっている今日この頃です。

岩田 京子

表紙の写真



昭和37年に建替えられた蕎高神社（高尾）ですが、経年劣化により令和7年12月に新たな社が完成いたしました。新神社になり初となる春祭り（あらまき）が1月7日に行われました。豊作を祈願する伝統行事です。新神社完成に伴い、あらまきの行い方を、次世代に繋げやすい形に模索していることです。

時代に合うように伝統文化を継承していく大切さを感じました。

菊名 克典